



令和3年度 宿利原小学校だより

宿っ子

5月号



学校のホームページは上のQRコードからお入りください



例年よりも早い梅雨入りとなりました

校長 有留 盛昭

梅の木には、青い実がたわわに実り、池や田んぼではカエルたちが賑やかに鳴いております。今年は、観測史上2番目に早い梅雨入りとなりました。5月中旬に梅雨入りしたのは28年前の平成5年です。平成5年の夏は、「1993年鹿児島豪雨災害」と名称が付くほど、長雨や長時間の集中豪雨、大きな台風の上陸などが相継ぎ、3か月ほどの間に121名という多くの方々が犠牲になりました。鹿児島8・6水害での石橋流出やJR車輛の土砂被害は、まだ記憶に新しい人も多くいらっしゃると思います。



今年も梅雨入りと同時に、大雨の日が続いています。災害が起こらないよう祈りたいところですが、それ以上にどのような災害にも私たち自身に対応できるように、日頃から準備を進めることが必要です。先日は、地震を想定した避難訓練を実施しましたが、訓練の後に地震による様々な災害を映像から知り、自分で自分の命を守る行動の大切さを学習しました。それぞれの家庭でも災害時の行動について、普段から考え、備えをお願い致します。

さて、自分の命を守る学習は避難訓練だけではありません。毎年水の事故によりたくさんの尊い命が奪われています。学校で行う水泳学習では、基本的な水泳技能を高めながら、水の怖さを知ることやそれを克服することを学ぶのも大切です。6月14日のプール開きでは、この夏の水泳学習の安全を祈願し、7月16日には、着衣水泳を行い水難事故への対応法を学びます。先日は、PTA奉仕作業として、宿っこ田んぼ周辺の除草とプール清掃を行いました。10人の水泳学習には広すぎる宿小のプールで、のびのびと学習する子供たちの姿が目に浮かびました。保護者の皆様、本当にありがとうございました。



話は変わって、奉仕作業できれいになった宿っこ田んぼは、もうすぐ田車を用いた草取り作業です。前述した平成5年鹿児島豪雨の年は、全国的に激しい冷夏で海外からの米の輸入が始まった年でもありました。学校給食でもタイ米やカリフォルニア米が調理されたところもあったようです。今のところ順調な宿っこ田んぼですが、自然が相手の作業ですのでなかなか思うようにいかないこともあります。宿利原小学校の特色である食農教育も、自然や命について考える学習です。体験を通して感謝の気持ちや命の大切さを感じ取ってほしいです。

